

2021年3月11日

東日本大震災から10年を迎えて【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 石川 聡一郎

東日本大震災の発生から、本日で10年を迎えました。
いまだ2,527人が行方不明であり、約4万1千人もの人が避難生活を余儀なくされています。

あの日の出来事、あの日の光景は、いまだ忘れることのできないものです。
今年は10年の節目となり、多くのメディアが当時のことを特集で取り上げています。
しかし、被災地の復興はまだ道半ばであり、節目の一刻の注目にとどまらない、震災を風化させない取り組みが必要です。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、被災地を訪れる旅行者は少なくなりました。
けれども足が遠のくことで、被災地への、そして被災された皆さんへの想いが薄れることがあってはなりません。

いま私たちは、新たな感染症の脅威にさらされています。しかしこの困難を乗り越えたとき、私たちのサービス・ツーリズム産業は、平和産業として産業の振興をつうじ、人々の交流を生み出し、被災地に笑顔を届けることで、復興の一翼を担っていきたいと思います。

以 上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>